

つきたい力

- ・読書そのものに喜びを感じて読書を進めていく力
- ・教科の力を伸ばす目的で読書・調査等を行う意欲
- ・考えを深め、情報ソースを明示して発信する力

取組みの概要・ポイント

- ・学校図書館を快適な楽しい学び空間に生まれ変わらせたことで、読書や学習に親しむホームとして生徒の居場所になった
- ・生徒会、委員会、部活動による自主活動を進めたことで、読書に親しみ、図書館に行く習慣が醸成してきている
- ・校区全体で統一した学校図書館の環境づくりや学校図書館を活用した学習を実施したことで段差がなくなった

その① 学校図書館を活用しよう

【図書館を活用した授業実践】

□外部講師を迎えた校内研修

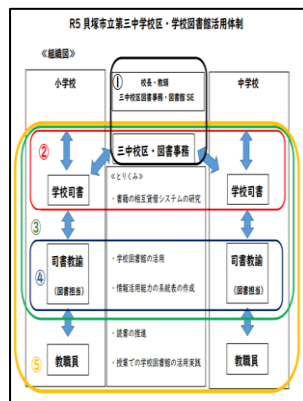
「図書館を使った楽しい授業づくり～道のり・著作権・多様性そして興味」  
講師：図書館振興財団／清教学園中・高等学校探究科 片岡則夫さん

□授業実践例

- 国語科(2年)【单元名】『モアイは語る～地球の未来』  
情報元を明確にし、引用しよう
- 技術科(1～3年)【单元名】  
「情報」～情報の真偽を確かめる
- 中学校区の小学校での実践(年間3回)  
5年生…新聞を読もう(2つの新聞を比べてみよう)  
1年生…好きな昔話を見つけよう  
5年生…3学期に実践予定 他

□三中を中心とした校区全体での活用体制づくり

- 定期的な小中図書館担当者の会議の開催
- 校区の図書事務員を中心とした、小中一貫の観点での各小学校の図書館整備(校区内の小学校全てで十進分類法による書架の整理・中学校をモデルとした学習スペースの設置・改良など)
- 中学校区の小学校での授業実践(校区共通の「利用申請書」・「学校図書館活用の流れ」の作成・配付)
- 書籍資料の相互貸借システムの構築実験(資料の少なさを校区でカバー)
- 小中一貫情報活用能力系統表の作成

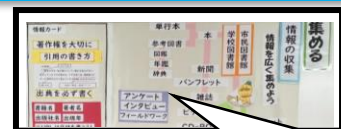


その② ワクワクどきどきするしかけを作ろう

【学びのナビゲート】

□学習の道しるべ

探究学習における「知る」「つかむ」「まとめる」  
「伝え合う」の学習の流れを、図書室前面の壁に掲示



- ・情報の種類(どこで集められるか)
- ・引用の方法(参考文献)



- ・情報のまとめ方や伝え方にはどんな方法があるか

- ・図書館の利用方法や書籍の配置などを知る
- ・テーマのしぼり方 など

【人が集まる場所となるような場づくり】

□図書室への誘導

使わなくなった電子黒板を電光掲示板代わりに使用し、お薦めの本の紹介スライドやイベント 情報を常時流す

□環境整備(R4～R5)

畳スペース・自習スペースの設置  
暗幕からカーテンへの交換により明るい雰囲気  
学習スペースの改良(机の増設・プロジェクター・模造紙・マジックの常設)  
絨毯敷き・ボードゲームの設置(R5)



取組みを通しての生徒の声や姿容

- 授業実践を通して、図書室での学習が終わった後も、「次の授業も図書室でしてほしい」という生徒の声が増えた。
- わからないことや知りたいことがあったとき、本やインターネットなどで調べている — 78.6%(7月)→85.8%(12月)
- 「図書室がとても居心地が良くなった。」「図書室が楽しい。」という声が聞かれたり、読書が苦手な生徒も放課後に図書室に立ち寄って、学習スペースや畳スペースで談笑したりする姿が見られたりした。
- 貸出冊数 1380冊(4～7月)→2570冊(4～12月)

関係資料



貝塚市教育研究センターHPへ  
・公開資料  
・授業実践